

山口県建設技術センター

この情報誌は土木技術に関する様々な情報を山口県及び市町の土木技術職員の皆様方に提供するものです。

情報誌 Vol. 67

発行：一般財団法人 山口県建設技術センター 発行日：令和2年3月19日

角力場トンネル(令和2年1月15日撮影)



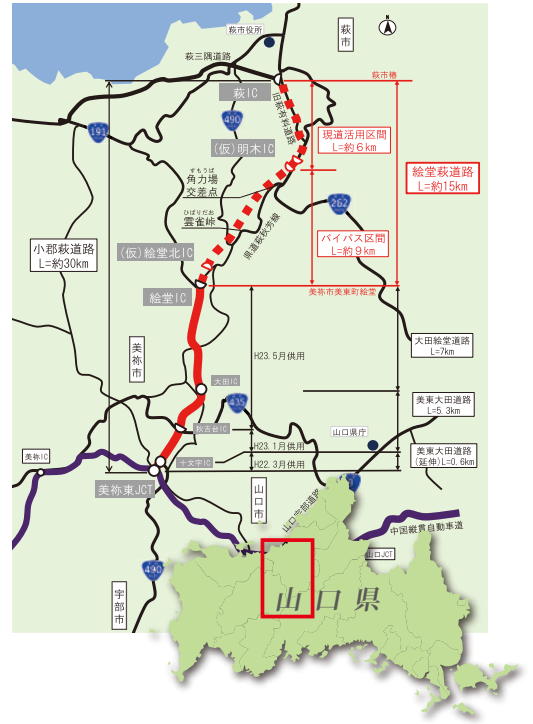
一般国道490号絵堂萩道路改築事業(萩工区)について
令和2年度の研修計画について
資格取得のススメ

一般国道490号絵堂萩道路改築事業(萩工区)について

小郡萩道路は、県央の交通拠点である山口市小郡、県の主要観光地である秋吉台、山陰の中心都市である萩市を結び、中国縦貫自動車道等と連結することにより、高速道路ネットワークを形成する延長約30kmの地域高規格道路です。

一般国道490号絵堂萩道路は、その小郡萩道路の一部を構成する延長約15km(現道活用区間約6kmを含む)の道路で、県央部と山陰地域との交流促進、空港や新幹線駅などの広域交流拠点との連携強化、観光拠点を結ぶ広域観光ネットワークの形成を図ることなどを目的として整備が進められています。

このたび、萩土木建築事務所にご協力をいただき、萩工区の現況報告の特集を組むことができました。



(仮)明木IC付近完成予想図



(仮)絵堂北IC付近完成予想図

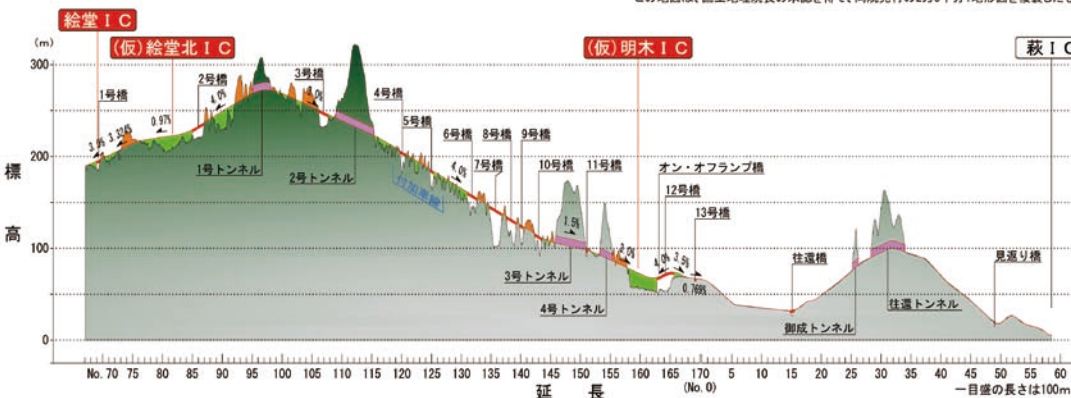
【事業概要】

事業名 一般国道490号絵堂萩道路改築事業
 延長 約15km バイパス区間約9km
 現道活用区間約6km
 起点 美祢市美東町絵堂
 終点 萩市椿東

設計速度 80km/h
 車線数 2車線
 標準幅員 13.5m
 計画交通量 約12,000台/日
 (2030年の予測値)



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平30情標、第869号)



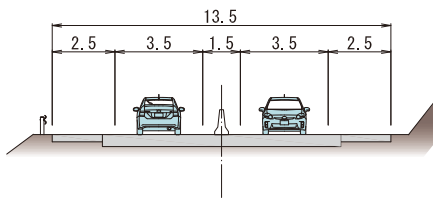
凡例	
赤線	小郡萩道路※
赤線(点線)	トンネル部
赤線(点線)	橋梁部
赤線(点線)	自動車専用道路
赤線(点線)	一般国道
赤線(点線)	主要地方道
赤線(点線)	一般県道
赤線(点線)	行政区界

※バイパス区間の橋梁名トンネル名IC名称は仮称(ただし絵堂ICは除く)

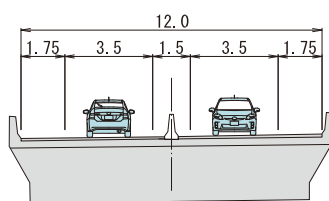
一般国道490号絵堂萩道路改築事業(萩工区)について

【標準断面（バイパス区間）】

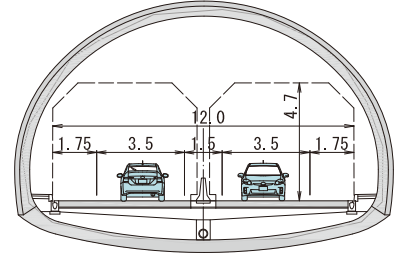
【土工部】



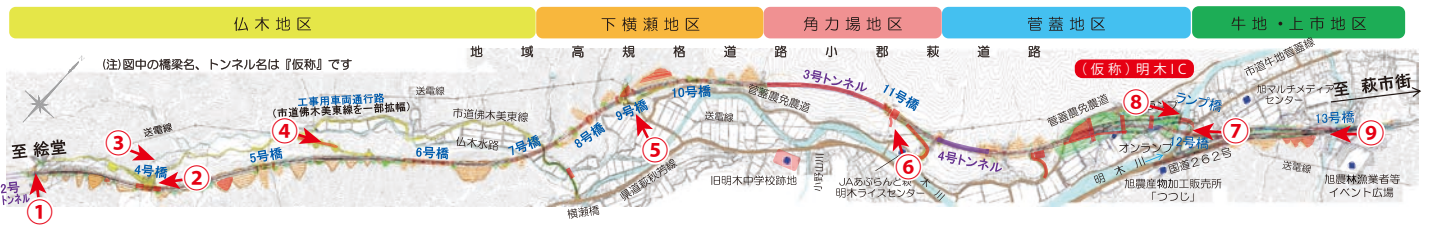
【橋梁部(長大橋)】



【トンネル部】



工事の進捗状況



(一財) 山口県建設技術センターでは、橋梁やトンネルなど構造物の調査設計管理業務や起工設計図書作成業務に携わらせていただきました。

また、現場研修の際にも大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



令和2年度の研修計画について

(一財)山口県建設技術センターが実施する研修について、来年度の計画が決まりましたのでお知らせします。研修内容や日程を確認していただき、計画的な受講をよろしくお願ひします。

来年度については、その他の研修区分の独自研修として、新たに県や市町の建築職員を対象とした「建築工事監理研修」を行うこととしました。この研修では、公共建築工事の工事監理や検査などに関する内容を取り扱うこととしていますが、詳細な時間割等については、研修開催の案内にてお知らせします。

なお、「研修対象者」欄の経験年数については目安として示しています。受講資格ではありませんので、興味のある研修への積極的な参加をお願いします。

令和2年度 研修計画総括表

研修区分	研修課程名	研修内容	研修対象者
職務基礎研修	新任者(前期)	・土木技術職員の心構え ・設計書の構成と歩掛表の見方 ・設計書の作成演習 ・工事現場実習	新規採用 土木職員等
	新任者(後期)	・設計書の構成と歩掛表の見方(業務委託) ・設計書の作成演習(業務委託) ・工事検査について ・地質調査について	
	災害復旧基礎	・災害復旧事務の流れ ・災害復旧事業の計画と演習 ・災害現場測量実習 ・査定設計書作成演習 ・査定の実地演習	
	積算システム	・土木積算システム演習 ・設計書の作成演習	
	CAD①	・CADの利用 ・情報通信技術の活用 ・建設CALS/ECについて	
実務能力研修	道路実務	・道路事業の流れ ・道路法 ・道路技術基準 ・道路設計演習	経験 5年程度
	下水道実務	・下水道事業の概要 ・下水道の基本計画 ・下水道暗渠の設計 ・下水道の維持管理	
	港湾実務	・港湾海岸事業の概要 ・事業執行の留意点 ・津波対策 ・港湾関係基本法令 ・港湾海岸施設の維持管理 ・港湾関係災害復旧事業 ・設計演習	
	施工管理実務(前期)	・施工計画 ・施工管理 ・品質管理 ・工事検査 ・工事安全対策 ・建設リサイクル ・工事監督の留意事項 ・現場管理の実際 ・現場施工事例	
	施工管理実務(後期)		
	予算・法令実務	・土木予算編成のしくみ ・契約、決算事務の流れ ・土木関係法令の基礎 ・建設業法 ・廃棄物処理法 ・会計検査の動向 ・土地収用法概略	
	測量・土質地質調査	・土質、地質調査の計画、調査方法 ・測量調査の方法、測量事務の概要	
	検査実務	・工事検査(工事・業務委託) ・工事成績評定(工事・業務委託)	
	災害復旧工法	・河川災害復旧工法 ・道路災害復旧工法 ・改良復旧工法 ・復旧工法演習	
	CAD②	・発注用図面の作成 ・建設CALS/ECの演習	
専門能力研修	道路施設設計	・舗装の設計、演習 ・歩道の構造とバリアフリー ・自転車通行環境整備 ・交通事故対策の立案と設計 ・道路附属施設の設計演習	経験 10年程度
	斜面对策	・法面对策工法の選定 ・安定解析の種類と選択 ・アンカーの設計施工 ・法面工の設計 ・緑化工法	
	仮設工設計	・仮設工設計概論 ・仮設工の設計及び演習 ・土留工、仮締切工の設計	
	地盤対策	・地盤改良工法の概要 ・地盤改良設計 ・軟弱地盤の概要 ・設計演習 ・杭基礎の種類及び選定 ・杭の安定計算 ・耐震設計	
	現場研修	・現場施工法 ・現場管理の実際 ・現場施工事例 ・事例研究	
	新技術・新工法	・i-constructionの取組み ・3次元測量・設計 ・3次元出来形管理	
	施設維持管理	・構造物の維持管理 ・構造物の劣化原因及び調査法 ・道路施設維持管理 ・補修工法 ・土木施設の老朽化対策	
管理能力研修	積算技術	・設計書作成上の留意点 ・設計書作成ミスの想定事例	経験 20年程度
	課長級技術	・土木倫理規定 ・建設業法等の土木関係法令 ・工事監督の留意事項 ・工事安全対策 ・会計検査の動向 ・品確法 ・建設事業における事業継続計画について	
その他 (独自研修)	転勤対象者技術研修	・設計・契約変更ガイドライン ・建設業法 ・入札契約手続き ・設計書作成上の留意点 ・総合評価入札方式	県の土木職員等
	橋梁設計・維持管理研修	・橋梁長寿命化計画 ・橋梁構造の基礎知識 ・橋梁補修・補強設計・橋梁点検実習	県・市町の土木職員等
	建築工事監理研修	・建築工事監理の流れと重点項目 ・公共建築工事標準仕様書について ・公共建築工事の完成検査等	県・市町の建築職員

※研修対象者の経験年数については目安であり、受講資格を限定するものではありません。なお、研修内容は若干変更になる場合があります。

※橋梁設計・維持管理研修は、公益目的事業として実施しています。

令和2年度の研修計画について

令和2年度 研修実施日程表

※研修会場：セミナーパークほか

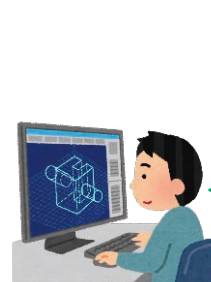
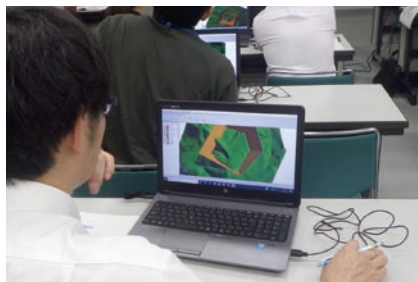
月	研修項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
4	(独自) 転勤対象者技術研修				土曜日	日曜日	(●)					土曜日	日曜日						土曜日	日曜日							土曜日	日曜日			昭和の日			
5	(基礎) 新任者[前期]		土曜日	憲法記念日	みどりの日	こどもの日	振替休日			土曜日	日曜日	●	●				土曜日	日曜日			●	(●)		土曜日	日曜日				●	●		土曜日	日曜日	
6	(基礎) 積算システム											●	●										●	●										
6	(基礎) 災害復旧基礎																																	
6	(基礎) CAD①		●					土曜日	日曜日					土曜日	日曜日							土曜日	日曜日						土曜日	日曜日				
6	(実務) CAD②			●																														
6	(管理) 積算技術					●																												
6	(実務) 施工管理実務[前期]											●	●																					
6	(実務) 災害復旧工法																																	
6	(専門) 地盤対策																																	
7	(専門) 仮設工設計		●	●																														
7	(専門) 斜面对策				土曜日	日曜日																			海の日	スポーツの日								
7	(実務) 港湾実務																																	
7	(専門) 新技術・新工法(ICT活用)																																	
8	(実務) 道路実務	土曜日	日曜日																															
8	(独自) 建築工事監理研修																																	
8	(実務) 予算・法令実務																																	
9	(専門) 道路施設設計		●	●																														
9	(実務) 下水道実務																																	
9	(実務) 測量・土質地質調査																																	
9	(実務) 施工管理実務[後期①]																																	
10	(実務) 施工管理実務[後期②]		●																															
10	(管理) 課長級技術			土曜日	日曜日																													
10	(独自) 橋梁設計・維持管理研修																																	
10	(実務) 検査実務																																	
11	(専門) 施設維持管理	日曜日																																
11	(基礎) 新任者[後期]				文化の日																													
12	(専門) 現場研修	●																																

※日程は、変更になることがあります。(最新日程はセンターHPをご覧ください) 日付のマークに()が付いている研修は、センター独自研修及び公益目的事業研修です。

専門能力研修 新技術・新工法課程について

今年度実施した「専門能力研修 新技術・新工法課程」は、新技術や新工法に関する最新情報等を学ぶ研修ですが、昨今のi-Construction（建設工事へのICTの全面的活用）の取り組みを踏まえ、発注側においてもICTに関する知識を有する人材の育成が急務となっていることから、内容をICT技術に特化するとともに、2年に一度の研修サイクルを見直し2日間研修として来年度も実施することとしました。

この研修では、3次元測量や3次元設計に関する実習を行うとともに、出来形管理に関する内容も取り扱っており、発注者として今後必ず必要となる知識を身に着けることができます。



最新のICT技術や
三次元設計などに
ついて学べます

新たな長期研修計画について

(一財) 山口県建設技術センターでは、県及び市町の土木技術職員を対象として、「長期研修計画」に基づく技術研修を年間20講座程度実施しています。現在の長期研修計画は、平成27年度から令和2年度までの6年間の計画で、令和2年度が計画の最終年度となります。そのため当センターでは、新たな長期研修計画の策定作業に取り掛かりました。

長期研修計画の策定にあたっては、最近の土木建設行政を取り巻く環境や必要とされる能力が変化していること等を踏まえ、真に必要とされる研修を計画していきたいと考えております。

研修課程等の設定にあたっては、アンケート調査などを通じて皆さんの意見を反映したいと考えていますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



資格取得のススメ

土木技術に関する資格について、皆さんはどうお考えでしょうか？土木職の公務員に必須となる技術資格はありませんが、資格取得には多くのメリットがあると思います。例えば、試験勉強をすることで知識が増えたり、知識の整理ができますし、協議等の際には議論の技術的なレベルが上がると思います。また、技術的判断を必要とする場面でも大変役立つものです。最近目標が特にないと感じている方は、資格取得を「目標」と設定するのも仕事のモチベーションが上がって良いかもしれません。

令和2年度の主な資格試験日程をまとめましたので、チャレンジしてみたいかどうかでしょうか？

ちなみに、以下に挙げたいずれの資格についても、山口県建設技術協会の会員であれば協会から受験料の助成を受けることができます。

令和2年度 資格試験日程

試験・資格名称	申込受付期間	試験日		申込書類提出先・問合せ先
技術士補(第一次試験)	R2.6.18~R2.7.1	R2.10.11	—	(公社)日本技術士会
技術士(第二次試験)	R2.4.6~R2.4.20	R2.7.11 (総合技術監理部門の 必須科目)	R2.7.12 (総監部門を除く技術部門 及び総監部門の選択科目)	(公社)日本技術士会
RCCM	R2.7.1 ~R2.7.31(予定)	R2.11.8(予定)	—	(一社)建設コンサルタンツ協会
1級土木施工管理技士	R2.3.17~R2.3.31	R2.7.5(学科)	R2.10.4(実地)	(一財)全国建設研修センター
2級土木施工管理技士(前期試験) ※種別:土木のみ	R2.3.4~R2.3.18	R2.6.7	—	(一財)全国建設研修センター
2級土木施工管理技士(後期試験)	R2.7.7~R2.7.21	R2.10.25	—	(一財)全国建設研修センター
1級管工事施工管理技士	R2.5.7~R2.5.21	R2.9.13(学科)	R2.12.6(実地)	(一財)全国建設研修センター
2級管工事施工管理技士(前期試験)	R2.3.4~R2.3.18	R2.6.7	—	(一財)全国建設研修センター
2級管工事施工管理技士(後期試験)	R2.7.14~R2.7.28	R2.11.15	—	(一財)全国建設研修センター
1級造園施工管理技士	R2.5.7~R2.5.21	R2.9.13(学科)	R2.12.6(実地)	(一財)全国建設研修センター
2級造園施工管理技士(前期試験)	R2.3.4~R2.3.18	R2.6.7	—	(一財)全国建設研修センター
2級造園施工管理技士(後期試験)	R2.7.14~R2.7.28	R2.11.15	—	(一財)全国建設研修センター
1級建設機械施工技士	R2.2.14~R2.3.31	R2.6.21(学科)	R2.8月下旬~9月中旬(実地)	(一社)日本建設機械施工協会
2級建設機械施工技士	R2.2.14 ~R2.3.31(第1回) R2.9.23 ~R2.10.21(第2回)	R2.6.21 (学科第1回) R3.1.17 (学科第2回)	R2.8月下旬~9月中旬(実地)	(一社)日本建設機械施工協会
地質調査技士	R2.4月上旬 ~5月上旬(予定)	R2.7(予定)	—	(一社)全国地質調査業協会連合会
土地区画整理士	R2.5.7~R2.5.21	R2.9.13	—	(一財)全国建設研修センター
コンクリート診断士	R2.4.1~R2.5.22	R2.7.19	—	(公社)日本コンクリート工学会
プレストレストコンクリート技士	R2.7.31~R2.9.7	R2.10.18	—	(公社)プレストレストコンクリート工学会

※測量士、測量士補については、1月で願書受付が終了しています(5月試験)。

受験資格や試験日程等の詳細については、各問合せ先への確認をお願いします。

編集後記

新型コロナウイルスが世界で猛威を振っています。当初は海外の話としてニュースを見ていたはずなのに、驚異的なスピードで感染が拡大し、今や山口県内でも感染者が確認されています。このことが騒がれ始めたのが年明け以降であることを振り返ると、短期間で世界中がパニックに陥ってしまうことに恐怖を覚えます。さて、季節性インフルエンザを含むウィルス感染症への対策のひとつとして、マスク着用があげられますが、マスクの役割を正しく理解したうえで使用することが重要です。マスクは「飛沫感染の防止」つまり、他人にうつすことを防止する効果は大きいものの、ウィルスの侵入を100%防ぐことができるものではありません。ですから、「うつらない」ために、マスク着用と併せて、こまめな手洗い・消毒や部屋の湿度管理などを行い、様々な方法の合わせ技でウィルスを体内に入れないよう心がけましょう。

【Eメール】 info@yama-ctc.or.jp

【ホームページ】 <https://www.yama-ctc.or.jp>

〒753-0073 山口市春日町8-3春日山庁舎
一般財団法人 山口県建設技術センター
情報誌編集委員会 宛
【TEL】 083-920-1233
【FAX】 083-920-1288